



木道による登山道の整備



車両乗り入れ規制に伴う登山バス運行



屋久島山岳部保全募金

古来からの自然を守る

世界遺産は登録されて終わりではありません。登録後の環境保全活動や維持が重要になってきます。世界遺産は6年ごとに登録されたときの貴重な状態を保全できているかを報告し、再審査を受ける必要があります。自然災害や、大規模な開発工事、都市・観光開発などにより、その顕著な普遍的価値を損なうような重大な危機にさらされている世界遺産は「危機にさらされている世界遺産リスト（危機遺産リスト）」に登録されることとなります。

それを回避するため、また屋久島の約8割は国有林であり、樹齢数千年におよぶ屋久杉をはじめ、

多くの固有種や絶滅のおそれのある動植物を守るため、さまざまな取り組みがなされています。登山道の改良や補修、生態系モニタリング調査による植生などの動態調査、山岳地域へのマイカーでの乗り入れ規制などを行い、屋久島の自然環境を守る仕組みが取られています。

環境保全への取り組みには、利用者の協力が不可欠です。利用者のマナー向上や協力金・募金など管理者と利用者が力を合わせ、また、地元住民の理解を深めることで屋久島の環境を守っていく必要があります。



CO2フリーの島を目指す

屋久島では環境に優しい地域づくりが進められてきました。また、島内の電力は豊富な水を利用し、CO₂（二酸化炭素）を排出しない水力発電でほぼまかなわれています。さまざまな分野でCO₂排出量の削減を図り、多様な豊かな自然環境を有する「地球環境先進県」のモデル地区とすることを目指しています。

島内での電気自動車および充電設備の導入を促進するため、導入経費の一部に対して助成を行っています。電気自動車が安心して走行できる環境づくりを促進するために急速充電器の設置も行ってお

り、現在島内に4カ所設置されています。

そして、自ら温室効果ガスの削減に向けて取り組むなど屋久島CO₂フリーの島づくりを積極的に推進する方を「屋久島CO₂フリーの島づくりサポーター」として登録し、島内はもとより県内外へもCO₂フリーの島づくりに関する情報を発信しています。

また、現在、温室効果ガスの削減を重点的に取り組むモデル集落において、環境家計簿コンテストやエコドライブコンテストを開催するなど、住民が主体となる取り組みを促進しています。



屋久島内の急速・普通充電設備設置箇所や利用方法などが掲載されています

古来からの文化を守る 山岳信仰「岳参り」

宮之浦岳参り伝承会

なかがり しょうじろう
中川 正二郎さん

山岳信仰の一つである岳参りは、海と里のめぐみである塩や米、浜砂などを奥岳の神に届け、豊漁豊作や無病息災を祈り、里に山のめぐみを持ち帰る参詣登山です。500年ほど前から伝わる行事で、屋久島では青年を中心として、年に2回春と秋に全島のどの集落でも行っていました。現在でもほとんどの地区で行われていますね。各集落ごとにお参りする山が決まっています。お参りの仕方も異なります。1泊2日で砂浜から山頂まで歩くという伝統に忠実なお参りをする集落もあります。

宮之浦地区では、戦時中を最後に岳参



りが行われない期間が続きました。10年ほど前に他の地区の岳参りに参加させてもらい、岳参りが屋久島に住む者にとつていかに大事で、不可欠な要素であるかを感じました。岳参りは屋久島の精神性の根幹であり象徴です。宮之浦岳の山頂には、400年前のものをはじめ宮之浦の住人たちがかたづけ上げた祠が祭つてあります。宮之浦地区でも岳参りを後世に伝えていかなければと考え、集落の年長者に尋ねたり、書物や他の地区を参考に試行錯誤を重ねながら、復活後9年目となりました。

畏敬の対象とすることは、山の自然を守ることに繋がります。山の神を敬うことで山を汚すようなことがなく、また息づくものを守る心が生まれます。そのことが、結果的には私たちの生活と命を守ることに繋がってくると思います。



屋久島の隠れた魅力を知る 里のエコツアー

屋久島環境文化研修センター研修課課長

たけもと じゅん
竹本 准さん



里のエコツアーは、屋久島島内の各集落の語り部（案内人）と2時間〜1日をかけて集落の歴史、文化、自然、産業など集落の見どころの散策を行うものです。集落によつては、体験活動や昼食を提供するプランもあり、観光で訪れるだけでは知ることができない集落内の様子を地元の語り部と話しながら見ることが出来ます。プランは散策型、文化体験型、産業体験型を準備しており、参加する方の希望にできる限り対応するようにしています。

屋久島は世界自然遺産に登録されたことで、自然環境には多くの目が向けられ関心を集めています。その島に暮らす人々の暮らしあつてこそその屋久島です。屋久島を観光で訪れた方が、豊かな自然だけでなく、地元の産業や歴史を知ることが屋久島の違う一面を知ることにつながります。また、移住してきた方など屋久島在住の方も参加されていますね。参加された方からは、語り部に質問をしながら散策でき、いろんな話ができたなど地元生まれの語り部の案内というツアーが好評を得ていますね。最近では、語り部の方からプランの内容についてアイデアが出されるなどこの事業に積極的に取り組む環境が作られてきています。屋久島の自然だけでなく、さまざまな視点から屋久島を見てほしいですね。



訪れる人の気持ちを満たす屋久島

屋久島エコツアーなないろの虹代表 いっばみき 井坪美紀さん

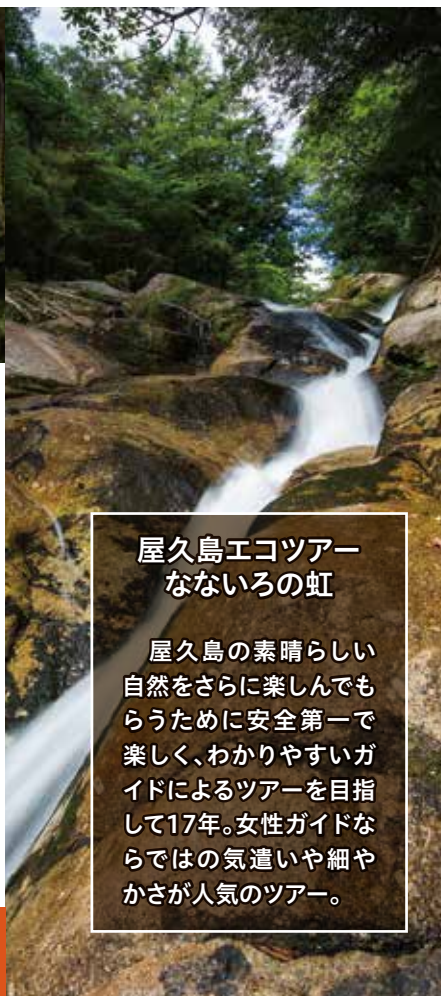


屋久島に観光で来られた方が、屋久島の素晴らしさに改めて気づくのは自分の生活する場に戻られてからだと思いません。屋久島観光中には、壮大で豊かな緑に圧倒されると思いますが、自宅に戻ってふとしたときに屋久島の水や空気など自然の素晴らしさに気づかされると思います。

屋久島は自然の素晴らしさを知ることかけとなります。屋久島でガイドをしていて興味深いことは、ツアーの途中、自然の中での感想が皆さんそれぞれ異なることです。屋久杉とその他の植物による共

生の様子を見て、仲良く生きているんだなど感じる人もいれば、寄りかかられて大変だと感じる人もいます。自分の生活する環境やそれまでの経験などで感じ方が変わるんですね。人によって感想が異なることは自然の中だけでなく、生活している上で必ず起こりうることです。屋久島での生活が不便だと感じる人もいれば、その不便さが心地よい人もいます。携帯電話が鳴る回数が多い方にとっては、登山中に圏外になることが日常から切り離され解放される時間につながるんですよ。みなさん、心が満たされる、自然を心ゆくまで満喫されていますね。

世界的にも素晴らしい唯一無二の屋久島を守り、訪れる方の気持ちをより満たすことができる、インタープリター（自然と人との「仲介」となって自然解説を行う人物）を目指して日々勉強しています。



屋久島エコツアーなないろの虹

屋久島の素晴らしい自然をさらに楽しんでもらうために安全第一で楽しく、わかりやすいガイドによるツアーを目指して17年。女性ガイドならではの気遣いや細やかさが人気のツアー。

未来の屋久島の環境

鹿児島県立屋久島高等学校（環境コース）

昭和23年に創立された島内で唯一の全日制の高等学校。平成13年から世界自然遺産屋久島の自然と環境を十分に生かす教育活動推進を目的に普通科に環境コースを設置。屋久島の自然・文化の学習だけでなく、環境保全に関する基礎知識を習得できる。

3年生 櫻井 大樹さん さくらい だいき

1年生の時に環境コースの先輩の屋久島の固有種であるヤクシマカワゴロモに関する発表を聞いて、自分もより深く屋久島のことを学びたいと考えてこのコースを選択しました。僕の研究課題は屋久島の生物が生活していたことがわかる生痕化石なのですが、今まで知らなかった屋久島の自然や歴史を知ることができてとても興味深いです。また、今でも地元ですぐ近くにある川で泳いで遊んだりしています。水が冷たくて気持ちいいです。卒業後は社会福祉士の学校に進学希望ですが、将来的には屋久島に戻ってきて、この豊かな自然のもとで暮らしていきたいと思っています。

2年生 本藤 愛美さん ほんとう あいみ

私は屋久島独特の植生にとっても興味があります。こんな小さな島に亜熱帯から亜寒帯までの植物が、ごく普通に生息しているのはすごいことだと思います。屋久島が世界自然遺産に登録されて多くの人が島に来ることはうれしいけれど、ゴミを散らかさないなどマナーをもっと守って、私たちの暮らす島を大切にしてほしいと思います。





白神山地・屋久島
世界遺産登録20周年
記念トークセッション

7月25日に鹿児島市のマルヤガーデンズ8階「ザ・ジャポナイズ鹿児島」において、青森県の白神山地と屋久島の世界自然遺産登録20周年を記念したイベントが青森県・鹿児島県主催で開催されました。イベントでは、青森、鹿児島両県知事や鹿児島県奄美パーク園長兼田中一村記念美術館館長を務める宮崎緑さんから世界自然遺産をテーマにトークセッションを行いました。世界自然遺産登録からの20周年を振り返るとともに、課題や今後の取り組みについて実り多い情報発信ができました。



20周年を記念して -イベント-

屋久島世界自然遺産登録20周年
記念シンポジウム in 東京

世界遺産登録が地域社会や自然環境に与えた影響を検証し報告するとともに、今後の屋久島のあり方について、島外の有識者を交えたパネルディスカッションを行います。

【開催日】10月20日(日)

【会場】東京大学農学部弥生講堂

【主催】環境省九州地方環境事務所

*一般の方の参加も可能です。

屋久島世界自然遺産登録20周年記念行事

世界自然遺産登録20年という大きな節目を祝うとともに、身近すぎて気づきにくい屋久島の魅力を考えるイベントを行います。

著名人のパネルトークを始め、屋久島太鼓や屋久島木挽き歌などが披露されます。

【開催日】11月23日(祝・土)〜24日(日)

【会場】屋久島町離島開発総合センター

【主催】屋久島世界自然遺産登録20周年

記念事業実行委員会

*一般の方の参加も可能です。

地方自治法施行60周年記念貨幣

地方自治法施行60周年(平成19年)を記念して、1000円と500円の記念貨幣が8年の期間をかけて都道府県ごとに発行されることとなりました。

鹿児島県は発行テーマを「屋久島世界自然遺産登録20周年」とし、1000円貨幣は「縄文杉」と「永田岳」、「ヤクシマシャクナゲ」

がデザインされました。



また、記念貨幣の発行と連携して、記念切手の発行も予定されています。

